

リークによる分析結果の 精度低下を防止

Agilent CrossLab CS リークディテクタ



新しい Agilent CrossLab CS (カートリッジシステム) リークディテクタにより、バルブ、フィッティング、トラップ内の リークを迅速に検出

GC システムでのガスのリークは、検出器のノイズや不安定なベースラインの原因になる他、カラム寿命を縮め、高価なキャリアガスの無駄にもつながります。CrossLab CS リークディテクタなら、厄介なリークを迅速に特定して、この問題を防止できます。

この製品には次のような独自の利点があります。

- **迅速**：応答時間は 2 秒、ゼロ化時間は 1.5 秒未満です。
- **手間が不要**：リークディテクタは USB 経由でファームウェアのアップデートができ、簡単に交換できるカートリッジシステムを搭載しています。
- **確実な測定**：ヘリウムを 0.003 mL/min の感度で検出でき、見やすい OLED ディスプレイと 49.9 dB の聞き取りやすいピープ音で、憶測に頼った作業が不要になります。
- **コンタミネーションの心配なし**：CrossLab CS リークディテクタは、液体ベースのディテクタと異なり、電池または USB 電源で駆動します。



憶測に基づく作業は必要ありません。
ガスのリークが検出されると、
リークの程度に比例するバーレベルが
画面に表示されます。

Agilent
CrossLab
From Insight to Outcome



フローメータとリークディテクタを 1 台で使い分けが可能に

Agilent CrossLab CS リークディテクタおよび ADM フローメータカートリッジシステムは、リーク検出と流量測定の機能を 1 台のハンドヘルドに組み合わせたシステムです。GC のモニタリングと診断用のきわめて優れたツールです。

現在 Agilent ADM フローメータをご利用の場合は、ファームウェア更新で、リークディテクタカートリッジもお使いいただけます。

リークディテクタの仕様

| パラメータ | 設定値 |
|---------|------------------------------|
| 感度* | ヘリウム 0.003 mL/min (大気中) |
| 使用時温度範囲 | 0 ~ 45 °C (結露しないこと) |
| 保管時温度範囲 | -15 ~ 50 °C |
| 電源 | 単 3 電池 3 本 (アルカリ) または USB 電源 |
| ディスプレイ | 128 x 64 ピクセル白黒、16 グレイスケール |
| 寸法 | 201 mm x 88 mm x 48 mm |
| 重量 | 420 g |

*室温 20~24 °C、標準的な大気圧で校正リークソースによって確認された場合

製品情報

| 説明 | 部品番号 |
|---|--------|
| CrossLab CS ADM フローメータ： ハンドヘルドユニット x 1、フローメータカートリッジ x 1 を含む | G6691A |
| ADM フローメータ交換用カートリッジ | G6692A |
| CrossLab CS リークディテクタ： ハンドヘルドユニット x 1、リークディテクタカートリッジ x 1 を含む | G6693A |
| リークディテクタ交換用カートリッジ | G6694A |
| CrossLab CS バンドル：ADM フローメータ およびリークディテクタ： ハンドヘルドユニット x 1、フローメータカートリッジ x 1、リークディテクタカートリッジ x 1、 キャリングケース x 1 を含む | G6699A |

ホームページ

www.agilent.com/chem/jp

カスタムコンタクトセンタ

0120-477-111

email_japan@agilent.com

本製品は一般的な実験用途での使用を想定しており、医薬品医療機器等法に基づく登録を行っておりません。本文書に記載の情報、説明、製品仕様等は予告なしに変更されることがあります。

DE44466.4411574074

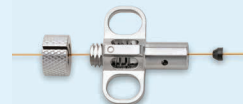
アジレント・テクノロジー株式会社
© Agilent Technologies, Inc. 2022
Printed in Japan, January 1, 2022
5994-4202JAJP

GC のリーク防止に 役立つその他の 2 製品



ウルトラナイトゴールド シール

リークのないシールを実現し、活性の高い分析対象物の吸着を抑えます。



セルフタイトコラムナット